

北海道公衆衛生学会雑誌

Hokkaido Journal of Public Health

ISSN 0914-2630 CODEN HKEZEA

Vol 23 No.2 2009

Contents

第61回北海道公衆衛生学会	
特別講演	
生活習慣病としてのがんの予防とコントロール	14
徳留信寛	
教育講演	
健康づくりと運動—その証拠から運動量増加の方策まで	21
岡野五郎	
シンポジウム	
テーマ「特定健診・特定保健指導による生活習慣病予防」	29
当別町における特定健診・特定保健指導の状況～ポビュレーションアプローチとの連動～	
武井英子	
旭川市における特定健康診査・特定保健指導の現状と課題	33
中島由美子	
札幌市国保の取組と課題	38
澤田さとみ	
シンポジウムII	
テーマ「認知症予防・認知症ケア」	43
ふまねっと運動を利用した地域住民主体の認知症予防の利点について	
北澤一利	
検診による認知症の早期発見・早期治療	47
村上新治	
認知症における地域連携の取り組み	48
内海久美子	
表彰論文要旨	
作業療法的視点を導入した介護予防家庭訪問の研究—北海道農村部における試験的研究	49
池野多美子	
プロジェクトE—国保医療費適正化に向けた糖尿病重症化予防の取組みの紹介	51
工藤裕子	
北海道天塩町の酪農家における腰痛の有無と労働状況・生活習慣との関連	54
後藤ゆり、他	
総説	
がん検診の受診態度に文化が与える影響：乳がん、子宮がんを対象にした文献レビュー	56
大島寿美子、前沢政次	
戦後日本の狂犬病対策と今後の課題—文献学的考察	67
木場宣宏、他	
原著	
地域在住後期高齢者の主観的健康感と高次生活機能に関連する要因	73
牧迫飛雄馬、他	
市民、学生の新型インフルエンザ対策についての意識調査—インターネット調査と比較して	80
大見広規、他	
在宅パーキンソン病高齢者における生活機能の季節変動—国際生活機能分類（ICF）による検討	86
角谷里佳、他	
パーキンソン病患者のQOLに対する抑うつの影響	96
韓萌、他	
労働者のワーク・ライフ・バランスと働く意欲	
—NOCS-MHデータベースから構造方程式モデルによる分析	103
三宅浩次	
高齢者の趣味活動と生命予後にに関するコホート研究—第1回追跡調査結果	111
伏木康弘、他	
介護職の職務満足度に影響する要因の検討	117
深川知恵子、北村久美子	
報告	
北海道大学留学生を対象とした一般用医薬品（OTC医薬品）情報についての調査	124
大見智子、大塚吉則	
1歳未満の乳児における麻疹抗体保有状況について	132
長野秀樹、他	
介護保険経済認定者におけるサービス未利用者の心身状態とサービス未利用理由	136
石出友美、他	
管内小規模町村における新任保健師の現任教育体制整備の取り組み	142
青木亜砂子、他	
平成15年度札幌市国保ヘルスアップモデル事業参加者の性別・年齢と生活習慣の関連性の検討	150
坂内文男、他	
新入学年の抑うつ傾向とその関連要因	155
工藤悦子、他	
農村部の女性独居高齢者が住み慣れた地域で老いていくことに対する思い	160
福田早也香、他	
資料	
北海道内市町村保健師職係長等を対象とした現任教育の実態	167
立花八寿子、玉井綾子	
2×2表を用いた疫学指標計算についての図解教材化の試み	172
望月吉勝、長谷川博亮	
都市部に住む運動機能障害者の地震や避難に関する認識と近隣住民への働きかけの実態	175
水野杏美、他	
北海道内市町村保健部門における新任期保健師を対象とした職務及び現任教育の実態	182
玉井綾子、立花八寿子	
話題	
保健所における新型インフルエンザ対策	191
荒田吉彦	
第62回北海道公衆衛生学会（2010年）概要	194
北海道公衆衛生学会役員名簿・評議員名簿	195
投稿規定	200
編集後記	202